

# 総務・拡充委員会事業計画（案）

総務・拡充委員会 委員長 米原 尊信

1 当会は本年、創立60周年という節目を迎え、式典をはじめとした記念事業が控えていま  
2 す。限られた会員数でこのような大規模なセレモニーを成功させる為には、まずは定例の総  
3 会・例会を厳粛かつ円滑に運営できる組織となる必要があります。また、当会の課題である  
4 会員数の減少と昨今の急激な時代の変化を鑑みると、我々が地域のための活動を続けてい  
5 く為には、時代の変化に対応した組織運営を行うことと、魅力的な組織体系を様々な視点か  
6 ら模索し変革を遂げるのが急務です。

7 まずは、2月定例例会、5月定例例会、8月定時総会・例会、11月臨時総会・例会、1  
8 2月定例例会では当委員会が模範となるよう、事前準備をしっかりと行い、厳粛で規律ある  
9 運営を行います。そして、2月定例例会においては日本青年会議所より拡大委員長を講師と  
10 してお招きし、会員全員が会員拡大に向けた心構えや手法を学ぶことで、会員一人ひとりの  
11 充実、延いては会員拡大へと繋がります。さらに、7月に開催される倉吉打吹まつりへ積極的  
12 に参加し、出店を通して地域住民とふれあう機会を作ると共に地域の賑わい創出へと貢献  
13 します。そして、鳥取県中部の小さな自治体から全国へ存在感を放つ企業はその組織体系に  
14 も工夫があると考えられることからこれを視察し、経営理念などに加えて、効率的かつ個々  
15 人の力を十分に発揮できる魅力的な組織体系作りへの工夫と、会社を興してから現在に到  
16 るまで時代の変化にどのように対応してきたのかを伺うことで、持続可能な組織作りに役  
17 立てます。さらに、ホームページやSNS等時代に即した広報手段を積極的に利用し、当会  
18 の活動を地域の方々に広く知っていただきます。

19 例会運営等を通して会員一人ひとりのスキルアップを行うのは勿論のこと、日本青年会  
20 議所より会員拡大の秘訣を学び、地元の企業といった関連諸団体より魅力的な組織体系と  
21 時代変化への対応策を学ぶことで、組織拡充の為の一助とします。これが持続可能な組織作  
22 りへと繋がり、10年20年先においても地域の人々へ貢献する充実した事業を行うこと  
23 が可能となります。

24

## 25 <事業計画>

- 26 1. 総会・理事会・例会運営に関する事項
- 27 2. ホームページ、SNS等による情報発信に関する事項
- 28 3. 会員拡大に関する事項
- 29 4. 打吹まつりに関する事項
- 30 5. OB、関連諸団体との連絡、調整、交流、連携に関する事項
- 31 6. 一般社団法人倉吉青年会議所における目的達成の為の事業実施とその協力